

Forum 2020秋季特集



衆議院議員

大野敬太郎

<https://keitaro-ohno.com/>

発行者：自民党香川県第三選挙区支部
□観音寺事務所
〒768-0022 香川県観音寺市本大町1797-2
TEL:0875-23-1231 FAX:0875-25-9539
e-mail:kanonji@keitaro-ohno.com

□丸亀事務所
〒763-0082 香川県丸亀市土器町1-129-2
TEL:0877-21-7711 FAX:0877-21-7701
e-mail:marugame@keitaro-ohno.com

□東京事務所
100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1211号室
TEL:03-3508-7132 FAX:03-3502-5870

菅義偉官房長官（当時）に安全保障調査会（小野寺五典会長）の事務局として「抑止力向上」に関する提言を申し入れる大野氏

菅義偉新政権発足

安倍晋三総理が辞任を表明した。日本は新しいリーダーを迎え、激動の時代の船出となる。米中対立と劣化する国際秩序の再構築、コロナ禍による疲弊感の払拭、進まないデジタル化や地方創生の完遂、やり遂げなければならぬ政策課題は多い。規制改革も必要だ。菅義偉新政権には大いに期待している。

■安倍政権を振り返り

約8年前、安倍政権は発足した。激動の時代、茹でガエルの如く沈みつつあった日本を回復軌道に乗せた。特に日本の国際政治力を飛躍的に引き上げた。困難や失敗もあったが絶対の人へのせいにしていない人であった。強靱さの裏側で苦勞は絶えなかったはずだ。8年間の重責と労苦をご慰労申し上げたい。一方で厳しい批判もあった。概ね公正さを担保する公文書管理などに関するものだ。忖度政治と言われたが、政治主導は間違っていない。本質は統治機構の脆弱さだ。公正さを担保する統治システムの確立を行うべきだ。



米国ホワイトハウス隣接施設にて

■コロナ対策

コロナ対策の要諦は、何があっても医療提供体制を崩壊させないことだ。特にインフルエンザの同時流行など、複合事態が生じても万全の体制を確保しなければなら

ない。党新型コロナウィルス関連肺炎対策本部（田村憲久本部長）に設置された危機管理動的オペレーションに関する会議（上川陽子座長）の事務局長として、各都道府県が整備すべき医療体制と行動指針などを提言し、現在実施されている。またワクチン開発が成功した際に配布や備蓄の綿密な計画を立てなければならぬ。こうした万全の体制を整備してこそ徐々に社会経済活動を再開していくべきだ。経済と感染対策の両立は緻密な計画が必要になる。菅政権下でも提言を続けていきたい。



厚労省コロナ対策本部にて提言の打合せ

■期待される日本の国際政治力

中国の国際秩序への挑戦が際立ってきた。対する米国は対立を激化させている。中国に依存しない経済システムを作るため特に先端技術が絡む中国製品を排除しようとしている。日本も技術流出を防止するなど経済安全保障を確立すべきだ。一方で自国主義が先鋭化する。一方で自国主義が先鋭化する。貿易の旗手として新しい国際秩序を先頭に立って形成すべきだ。党新国際秩序形成戦略本部（甘利明本部長）の事務局として戦略立案を行っている。菅政権下でも積極的に推進していきたい。

大野敬太郎 profile



大野敬太郎 WEB <http://keitaro-ohno.com/>

《略歴》昭和43年11月1日生まれ。さる年さそり座O型。丸亀在住・本籍豊浜。座右の銘は先憂後楽。好きな作家は塩野七生と司馬遼太郎。坂出附属中（ブラバン）・丸亀高校（テニス・器械体操）・東京工大卒・同大学院修士修了、後に東京大学博士号取得。富士通研究所、米カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー、東京大学産学官連携研究員、大臣秘書官、議員秘書などを経て自民党衆議院議員候補者公募に応募。自民党香川3区支部長就任。2012年の第46回総選挙にて初当選。現在当選3回。
《これまで》政府では防衛大臣政務官など。党では副幹事長として党運営に携わる一方で、安全保障・外交・財務金融・産業・科学技術イノベーション・知的財産・宇宙・航空・農業・社会的事業など多くの政策立案に従事。衆議院では、地方創生・外交・安全保障・財務金融委員会を、議員連盟では、人口減少対策、農村基盤整備ため池小委員会、和の住まい議連、保険・証券議連、量子技術推進議連、サービサー議連等の事務局を、また議員外交は、フランス・イスラエル・ヨルダンなどの議員連盟の事務局を務める。



提言後の首相官邸での記者取材受け

■ミサイル抑止力の向上
弾道ミサイル攻撃の脅威から国民を守るために必要なことは、打たれても防護できることと、そもそも打たせないことだ。前者を対処力、後者を抑止力という。前者は前者だが配備計画が中断された。代替手段も必要だが、そもそも後者に



ため池対策法検討現地調査



森山裕国会対策委員長への報告

■防災減災で安心な地域を
ため池整備促進法の成立に奔走した通常国会であった。集中豪雨など自然災害による被害が年々増えている。古代ローマの時代からインフラ整備は国の重要責務だ。ため池決壊対策も例外ではない。全国十六万の内、七割が江戸時代前の築造で老朽化している。最近では年間平均千か所が被災、四十か所が決壊している。これまで農村基盤整備議員連盟ため池小委員会事務局長として対策予算の獲得に努めてきたが、限界を感じ立派化するようになった。法律案準備や与野党協議などを取り直し、苦勞の末に成立を見た。二度とため池決壊による被害を見たくない。

■フェイクニュースとデジタル化
コロナ対処で台湾は大成功を納めた。中国武漢の感染拡大状況をいち早く察知、早期の水際対策と必要物資の確保、デジタルデバイス等の積極活用により、感染者数を極めて低く抑えた。しかし、そうした台湾への中国による圧力は強い。先の台湾総統選挙ではSNS等を通じてフェイクニュース攻撃が選挙が歪められた可能性が指摘されている。4年前の米国大統領選挙でも同様の報道があった。真実ならば、民主主義がネット技術によって脅かされたことになる。国際社会では確認されていないが、台湾などと連携・情報交換を積極



西村康稔大臣への子育て世代支援の提言

■コロナと子育て世代支援
2月末、コロナウイルス感染拡大の影響を受けて政府は早々に学校休校要請を発出した。このころから危機意識が共有されたが、影響を受ける親御さんからの悲痛もいえる声が届き始めた。同僚議員のもとにも同様の声が届いていた。そうした声に、たまたま居合わせた某ベテラン議員がすぐに動き始めた。次の日にはコロナ担当大臣でもある西村康稔経済財政担当大臣に子育て世代に対する給付増額の提言書を届けることになった。それまでは考え抜いて提言書を書くことが多かったが、政治に課されたスピード感の重要性を感じた瞬間であった。



台湾の友人と意見交換



高市総務大臣とフェイクニュース対策の議論

■地方創生と宇宙利活用
宇宙と聞いて夢と連想するのは時代遅れだ。GPSや天気予報や機内インターネットだけではなく、生活のあらゆる場面で利用されている。最近では物流やスーパーマーケットの事業効率化、あるいは農作物の高収益化でも利用され始めている。人工流れ星によるエンターテインメントビジネスも始まるうとしていく。民間が事業として宇宙を指向する時代になった。今年政府の中長期戦略である宇宙基本計画改定の年に当たる。事務局長を務める党宇宙海洋開発特別委員会(河村建夫委員長)では、累次にわたり提言に向けた議論を重ねてきた。生活の利便性向上、特に地方創生に貢献する民間ビジネスの促進などを中心に提言した。また衛星打ち上げコストを低減させ得る民間宇宙資源開発を可能にする法律の立法準備を同僚議員と進めている。

■副幹事長としての党の運営
党の副幹事長を1年務めた。中でも党運動方針の起草委員会(山口泰明委員長)で会議の運営役を経験させていただいた。憲法改正や地方創生などの位置づけをどうするか、という年度大方針について、関係するベテラン議員から発せられる、時には互いに対立する意見をスム



岸田文雄政務調査会長への説明



小泉進次郎環境大臣への提言申し入れ



地元の詫間町粟島に向かう船上で

■幻の決算委員会議決案
税金の使われ方や行政監視を行う決算行政監視委員会の理事を2期務めた。採決後は衆議院全体の議決文を作成する。今期、与党を代表し起草することとなった。野党代表とのガチンコ勝負。大変な苦勞の末、何とかまとまったものの会期内採決が流れた。苦勞水疱に帰す。これも民主主義の宿命だが残念だ。

■帰郷の感動と原点
コロナ禍で3月後半から6月頃にかけて地元へ帰ることが許されなかった。この間、コロナ対策に関する厳しい声も届いていた。国会議員という生き方を選び、未来創造者でありたいと思いついてはいるが、永田町の政策を直接お目にかかってお届けて感戴した。コロナ禍で初めて帰郷できたときは涙を流して帰郷できた。コロナ禍で初めて帰郷できたときは涙を流して帰郷できた。コロナ禍で初めて帰郷できたときは涙を流して帰郷できた。

大野敬太郎の活動に是非ご協力ください!

ポスター・後援会新聞・運営資金などでガッツリとサポートしたい!

ポスター掲示や新聞配布等につき、地域でお世話頂ける方を募集中です。また会費制のForumK 正会員を随時募集中です(入会申込書有り)。詳しくはWEB 事務所まで。

政治や経済などに関する勉強会に参加しつつスマートにサポートしたい!

西讃地域は太宝会、中讃地域は大志会として、地域や日本のあるべき姿をご来場いただいた皆様と共に議論する会です。奮ってご入会ご参加ください。

イベント情報や政治動向、大野の視点をタイムリーに知りスパッとサポートしたい!

時事問題や政治動向を大野独自の視点でいち早く不定期で皆様にメールニュースとしてお届けしております。入退会は自由で、もちろん無料です。ご関心のある方は是非お試し下さい。

大野敬太郎 WEB
<http://keitaro-ohno.com/>

facebook

